

# 摺鉢山古墳(台東区)

すりばちやま

正面が摺鉢山古墳/5世紀後半の築造と推定される前方後円墳



ここは後円部になる



摺鉢山古墳

台東区上野公園五番

摺鉢山は、その形状が摺鉢を伏せた姿に似ているところから名付けられた。ここから弥生式土器、埴輪の破片などが出土し、約千五百年前の前方後円形式の古墳と考えられている。

現存長七十m、後円部径四十三m、前方部幅は最大部で二十三m。後円部の道路との比高は五mである。丘上は、かつての五條天神、清水観音堂鎮座の地であった。

五條天神の創立年代は不明であるが、堯恵法師は『北国紀行』のなかで、文明十九年（一四八七）に忍岡に鎮座する五條天神を訪れた際、

契りきて たれかは春の

初草に 忍びの岡の 露の下萌  
と、うたっている。現在、上野公園忍坂脇に鎮座。

清水観音堂は、寛永八年（一六三一）寛永寺の開祖天海僧正により建立されたが、元禄年間（一六八八〜一七〇三）初めごろ寛永寺根本中堂建立のため現在地に移転した。

現在、丘上は休憩所となっているが、昔のまま、摺鉢の形を保っている。

平成六年三月

台東区教育委員会

時計回りに外周から眺めてみる



後円部を見る



後円部を見る



右手は後円部で左手(後円部に比べて非常に低い)が前方部となる



前方部先端から後円部方向を見る





さて、くびれ部辺りにある階段で後円部墳頂へ登って見る





ここが後円部の墳頂/江戸時代初期には、ここに清水観音堂と五條天神社があったという



後円部の墳頂で前方部方向を見る



前方部が低くなって延びている



前方部先端方向を見る



前方部から後円部を見る



前方部の先端から後円部方向を見る





さて、近くの花園稲荷神社を通過して五條天神社へと進む



# 花園稻荷神社の御縁起

御祭神

倉稲魂命

(又の御名は豊受姫命、伊勢外宮の大神)

大祭 四月十一日

講祭 十一月十一日

祭日 毎月十一・午の日

御由緒 鎮座の年月、由緒は不詳ですが、住古より此地にあり、穴の稲荷又は忍岡稲と云われました。

承応三年(三百三十年)位前、天海大僧正の高弟、晃海僧正が靈夢に感じ、歴絶のお社を再建して、上野の山の守護神としました。

この附近より北西一帯が寛永寺のお花畑であったので、明治六年花園稲荷と改名し、昭和三年現社殿にお遷ししました。

旧社殿の跡は俗称「お穴様」と呼ばれ、晃海僧正再建の記が刻まれた岩穴が現存します。

安産の神とも云い、特に縁談、金談の願がけにいたゞく「白羽の矢」は古来から有名です。

花園稲荷神社  
上野観光連盟



五條天神社縁起



五條天神社



摺鉢山古墳の後円部墳頂にあったものを江戸時代にこちらへ移転したという



水屋



変わったデザインの屋根





変わった形の手洗石



こちらが正面入口のようだ



## 参考ホームページ

<http://sgkohun.world.coocan.jp/tokyo/23ku/suribati.html>

<http://ao.jpn.org/i/iseki/kofun/suribachiyama.htm>

<http://www.amy.hi-ho.ne.jp/mizuy/arc/kofun/>

<http://www.maroon.dti.ne.jp/~sattou/meisyo/suribatikohun.html>

<http://kofun.info/kofun/224>

[http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/tokyo/03\\_tait/taito.html](http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/tokyo/03_tait/taito.html)

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=15>

<http://sunstorm.blog92.fc2.com/blog-entry-52.html>

<http://homepage2.nifty.com/o-obuta/kofunn/tokyo/taitoku/suribati/suribati.html>

<http://blogs.yahoo.co.jp/aruki234/62014938.html>

<http://gogohiderin.blog.fc2.com/blog-category-9.html>

